

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする

道徳の授業で学習する内容項目一覧

小学校 低学年 19 項目 中学年 20 項目 高学年 22 項目		中学校 全年 22 項目	
A 主として自分自身に関すること	C 主として集団や社会との関わりに関すること	A 主として自分自身に関すること	C 主として集団や社会との関わりに関すること
善悪の判断 自律	規則の尊重	自主 自律 自由と責任	遵法精神 公徳心
自由と責任	公正 公平 社会正義	節度 節制	公正 公平 社会正義
正直 誠実	勤労 公共の精神	向上心 個性の伸長	社会参画 公共の精神
節度 節制	家族愛 家庭生活の充実	希望と勇氣 克己と強い意志	勤労 家族愛 家庭生活の充実
個性の伸長	よりよい学校生活 集団生活の充実	真理の探究 創造	よりよい学校生活 集団生活の充実
希望と勇氣 努力と強い意志	伝統や文化の尊重 国や郷土を愛する態度		郷土の伝統と文化の尊重 郷土を愛する態度
真理の探究	国際理解 国際親善		我が国の伝統と文化の尊重 国を愛する態度 国際理解国際貢献
B 主として人との関わりに関すること	D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	B 主として人との関わりに関すること	D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
親切 思いやり	生命の尊さ	思いやり 感謝	生命の尊さ
感謝	自然愛護	礼儀	自然愛護
礼儀	感動、畏敬の念	友情 信頼	感動 畏敬の念
友情 信頼	よりよく生きる喜び	相互理解 寛容	よりよく生きる喜び
相互理解 寛容			

学校ではこの内容項目についての授業を年間で計画的に実施していきます。

平成 30 年度 小学校
令和元年度 中学校

全面実施

特別の教科 道徳



よりよく生きるための基盤となる
道徳性を養うことを目標とする。
学習指導要領 道徳教育の目標

家庭・地域用
リーフレット

多摩市立西落合小学校の令和4年度の道徳教育について

1. 道徳教育の重点目標
自分の生き方を深く見つめさせ、道徳的心情を豊かにし、道徳的判断力を高めます。
2. 道徳の授業で重点的に指導する内容項目
すべての学年で、「生命の尊さ」「規則の尊重」「いじめの防止にむけて」を重点に指導します。
3. 本校の道徳教育の特色
意図的かつ計画的な授業を実践し、人間としての生き方の基礎となる道徳性を高めます。

■保護者・地域の皆様へ…道徳教育は、学校・家庭・地域の連携が重要です!!

- ・学校の道徳教育の重点目標を知り、どんな児童・生徒を育てたいかを、ぜひご理解ください。
- ・学校の道徳授業地区公開講座（授業参観・意見交換会）に積極的にご参加いただき、特に、子供たちの道徳性を高めるための話し合いへのご参加をお願いします。
- ・子供たちの健やかな成長のためのご協力をお願いします。



- ・小学校 中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）
- ・小学校 中学校 学習指導要領解説 特別の教科 道徳編（文部科学省 平成 29 年 7 月）
- ・道徳科 指導と評価の ガイドブック（東京都教職員研修センター 平成 30 年 3 月）
- ・VIEW21 教育委員会版 2017 Vol.4（株式会社ベネッセ・コーポレーション）



令和6年4月
多摩市立西落合小学校
多摩市教育委員会



1 特別の教科 どうして「特別の」が付いているのでしょうか？

国語や算数・数学などの教科とは、異なる点があります。

- ・授業は、道徳科の免許をもった教員ではなく、主に学級担任の教員が行います。
- ・評価を行います。数値での評価は行わず、子どもたち一人一人を認め、励ます評価を行います。



2 道徳性 道徳性とは何でしょうか？

難しいことですが…道徳的判断力・道徳的心情・道徳的実践意欲と態度のことです。

- ・道徳的価値が大切であることを理解し、様々な状況下において人間としてどのように対処することが求められるか判断する能力
 - ・人間としてのよりよい生き方や善を指向する感情
 - ・道徳的価値を実現しようとする意志の働き、行為への身構え など
- ※道徳的価値…人間として生きている上で必要とする、あるいは人間らしさを身に付けていくための基礎・基本となる価値のこと



4 各学校の取組 学校はどのような準備をしているのでしょうか？

【重点目標の設定】

学校の教育目標や児童・生徒の実態、特色などを考慮し、育てたい児童・生徒像を明確にし、道徳教育の重点目標を設定します。次に、重点目標を踏まえ、重点的に指導する内容項目（P3 参照）を設定します。重点的に指導する内容項目は、時数を連続的に取ったり、何回かに分けたりして授業を行います。

重点目標例

- ・相手を尊重し、思いやりのある子
- ・正しい判断で、力強く生きようとする子



【全体計画・年間指導計画の設定】

道徳教育の重点目標を達成するために、学校の方針の下、全教員で協力して、道徳の授業の全体計画・年間指導計画を作成します。

【道徳科の授業】

年間指導計画に基づき、週1回（年間35時間）の道徳科の授業を確実に実施します。

1時間の授業の目標を明確にし、問題解決的な学習や体験的な活動を取り入れた学習などの多様な指導方法で授業が行われます。

Key Word : 「考え、議論する道徳」



【検定教科書の使用】

多摩市立小・中学校で使用される検定教科書は、光村図書の「きみがいちばんひかるとき」です。

【小・中学校道徳の教科書】



6 道徳の評価 どのような評価が行われるのでしょうか？

道徳科の評価は児童・生徒の「道徳性そのもの」を評価するものではありません。道徳性を養う学習活動（授業）に着目して、その「学習状況」や児童・生徒の「成長の様子」を把握し、「認め、励ます評価」を文章記述で行います。

具体的には…

- ねらいとする道徳的価値についての理解を基に
 - ①自己を見つめることができたか
 - ②物事を（広い視野から）多面的・多角的に考えることができたか
 - ③自己（人間として）の生き方について考えを深めることができたか
- ※（ ）は中学生対象

について児童・生徒の学びや成長を把握していきます。

また、1単位時間のみでの評価ではなく、学期ごとや学年等の一定のまとまりで児童・生徒の学びや成長を見取り、大くりな評価をすることになります。



3 教科化の経緯 道徳がどうして教科になったのでしょうか？

大きな理由の1つは、いじめ問題への対応のためです。

本来、道徳は、いじめ防止等に向けた重要な役割を担うものです。しかし、「いまだに道徳教育そのものを忌避しがちな風潮があること」「他教科に比べて軽んじられていること」「読み物の登場人物の心情理解を中心とした形式的な授業が行われていること」等の課題もあり、現実的ないじめの問題に十分に対応できていませんでした。深刻ないじめ等の本質的な問題の解決に向けて、道徳教育の一層の充実を図る必要があることから、教科化となったのです。

5 考え、議論する道徳 どのような指導の工夫があるのでしょうか？

児童・生徒が自己の生き方を見つめる場面と多様な視点から交流することを通して、一人一人の児童・生徒がよりよい生き方を考えていく授業が行われます。

考えたことを、毎日の生活の中で生かしていこう。

読んで考えよう

話し合ってみよう

考えて考えよう

書いて考えよう

演じて考えよう

光村図書出版「きみがいちばんひかるとき」 小学校5年生より

【特別の教科 道徳のまとめ】

- 1 週1時間 年間35時間の授業が計画的に行われます。
- 2 学校は重点目標・重点的に指導する内容項目を設定します。
- 3 検定教科書が使用されます。
- 4 「考え、議論する道徳」の授業が行われます。
- 5 子供たちを認め、励ます評価を行います。

